



『今月の会長』

「フェンシングレター」

オリンピックまで 500 日を切りました。選手たちには過ごした時間に悔いが残らぬよう精一杯努力してもらい、協会としてもしっかりと支えて参ります。そういった中で男子エペの躍進はエペのみならずフェンシング界に大きな影響と勇気を与えてくれるものだと考えています。

選手たちの活躍が単に試合の勝ち負けでなく、試合での姿勢、そこに向かうまでの取り組みが人々に多くの感動を与えてもらえるように期待しています。

協会のスローガン「突け、心を。」

選手、コーチ、役員、などフェンシングに携わる全ての人々が自分たちの役割にプライドを持って、フェンシングとスポーツの価値をあげていけるような協会にしたいです。

勝利至上主義からの脱却、フェンシングを愛するすべての人にとって意味のある協会へ。フェンシングを通して学んだこと、感じたことを社会のために使って欲しいと思います。

今月号で一旦休止となります、フェンシングレター。協会の取り組みや、会長としての取り組みをフェンシングを大切に想ってくださる方々に対して広く届けるためにやってきました。今後は新たな形でフェンシング協会の取り組みを披露する場所を協会 HP 上で公開するように準備を進めて参ります。また、長きに渡って連載をしてくださった組織委員会の加藤さんにもこの場を借りて御礼申し上げます。